

平成26年度 アパレル情報交流研究会

ネクタイ業界と意見交換

組合情報
umiai

平成27年3月13日(金)
平成26年度アパレル情報交流研究会を組合本部3階会議室にて開催した。

今回は、東京ネクタイ協同組合理事長をはじめ、東京都立産業技術研究センターより5名の参加をいただき、当組合からは三役と経営技術部の8名が出席し様々な情報交換が行われた。今回のアパレル情報交流研究会は、開催の原点に戻り1つの会社・団体と深く情報交換するという考えのもと開催した。

ネクタイ業界と組合の現状

ネクタイ業界は昭和63年をピークにクールビズやスーパークールビズの影響もあり需要は減少傾向にある。製品も輸入が多くなり、ほとんどが中国から輸入しているとのこと。組合も全国に4か所あったが、現在は東京と関西の2か所と上部団体の日本ネクタイ



組合連合会で活動している。組合員も減少傾向にあり東京では現在31社が加盟している。

ネクタイ組合の取り組み

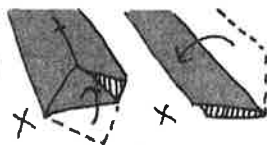
ネクタイ組合では、毎年父の日に「父の日にはネクタイを」というプロデュースを行っている。一般社団法人日本メンズファッション協会が行っているベスト・ファザー賞の中からベスト・ネクタイスト(日本ネクタイ組合連合会が作った「ネクタイをしている人」という意味の造語)を認定し表彰を行っている。平成26年は愛知県知事「大村 秀章」氏とプロボクサー「村田 諒太」氏の2名が受賞した。

クールビズが終る秋頃には、キャンペーンを行い販促活動を行っている。

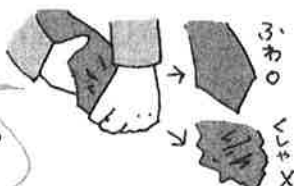
ネクタイを選ぶポイント



剣先は二等辺三角形か?



シワにならないか?



クレームの現状とクリーニング処理の注意点

昔は絹のネクタイが多かったが、最近ではポリエステル製のネクタイが増えてきている。絹の方が白化やスレなどのクレームが多いと思っていたが、ポリエステル製品のクレームや問い合わせは増えているとのこと。

ポリエステル製品の中には、染色堅牢度試験を行い、基準値をクリアした製品も変色が見られたため、昇華堅牢度試験も試験項目に入れるようにしていると話していた。昇華とは、固体が液体にならずに直接気体になる現象のこと、繊維上の染料が昇華すると、水などを介さずに移染が生じることをいう。

ネクタイをクリーニング処理する際は、繊維の種類や、染色堅牢度、昇華堅牢度が低い製品もあるため細心の注意をはらい処理すること。

ネクタイを選ぶ時のポイント

1番注意する点は、ネクタイの片側を持ちぶら下げたり、ネクタイの端と端を持って引つ張るとねじれることがある。これは、布を裁断する際バイアス(織物の布目に対して斜めであること)に布が裁断されていないものか、縫製の際にねじれが生じたものである。購入の際は、ねじれていない製品を選んでいただきたい。

お互いの業界や組合の現状、取り組みなどを情報交換しあい、あつという間の2時間であった。

ネクタイもクリーニングも無くならないものであるから、消費者の注目を集められるようお互いに頑張りましょうと東京ネクタイ協同組合理事長様より挨拶をいただき会を閉じた。